



元気で健やかに

二十一世紀、現代の子供たちが成長し社会に出る、そこにはどんな未来が待ち受けているのでしょうか。私たち大人一人一人は、子供たちの成長を時にはきびしく、時には優しく見守り、そして、子供たちが夢と希望を持てるような社会、また、それを実現させてあげられる社会環境を作ってあげましょう。（鯉のぼりの前で兜をかぶる第一保育所の子供たち）

町づくりアンケート調査結果

理想の将来像は

災害や公害のない

安心して暮らせる町



昭和70年を目標とする壬生町のありべき姿と、これを実現するための施策を内容とする「壬生町新振興計画」を策定するに当たって、町民の皆さんが現状をどのように評価しているのか、また、今後の町づくりをしていく際の課題、そして、皆さんはどのような壬生町の将来像を望んでいるのかなどについて、アンケート調査を行いました。

このアンケート調査は、自治会長さんを通じ町内全世帯へ調査用紙の配布、回収を行いました。その結果七〇四一世帯（七七・六％）の皆さんから回答をいただきました。

その結果、教育施設の充実や風紀のよさに住みよさを感じている反面、下水処理対策の遅れに不満を感じた人の割合も多かった。また、理想のまちとしては、「災害や公害のない安心して暮らせるまち」を望んでいます。

防犯、風紀のよさ、保育所、学校などの教育施設の充実に住みよさを感じ、道路の水はけ、家庭雑排水の処理などに不満を感じています。

- 車その他の騒音や振動
- 周辺道路の安全さ
- 道路の水はけ
- 家庭雑排水の処理
- 防犯や風紀のよさ
- 保育所・幼稚園などの幼児施設
- 小・中学校などの学校教育施設
- 運動場・体育館などのスポーツ施設
- 公民館・集会所などの地域活動施設
- 老人施設・福祉センターなどの社会福祉施設
- 病院・診療所などの医療施設
- 鉄道・バスなどの交通施設

満足	普通	不満	わからない
13.3	60.6	19.8	6.3
4.5	52.9	36.2	6.4
10.7	42.3	40.4	6.6
12.5	36.1	43.8	7.6
7.3	69.6	12.3	10.8
16.0	55.1	6.6	22.3
15.6	53.1	6.7	24.6
11.7	52.0	17.5	18.8
12.4	57.3	14.1	16.2
3.7	40.9	21.3	34.1
16.3	53.5	18.3	11.9
11.5	48.6	30.1	9.8

問1 あなたの家の周辺の環境条件や公共的な施設について、日常生活上どの程度満足していますか？

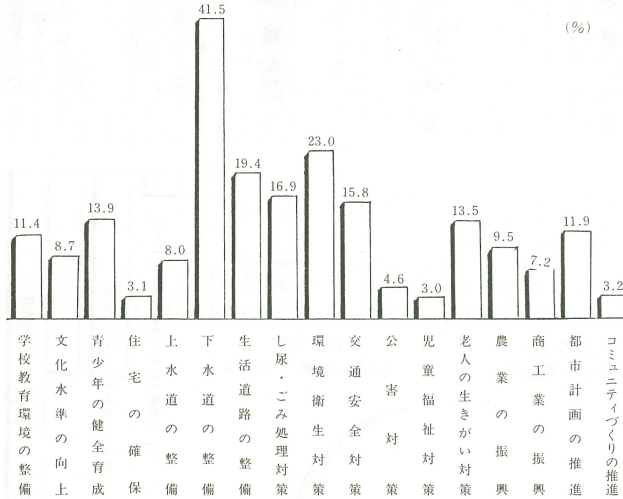
6月は「環境整備の月」です

広報みぶ

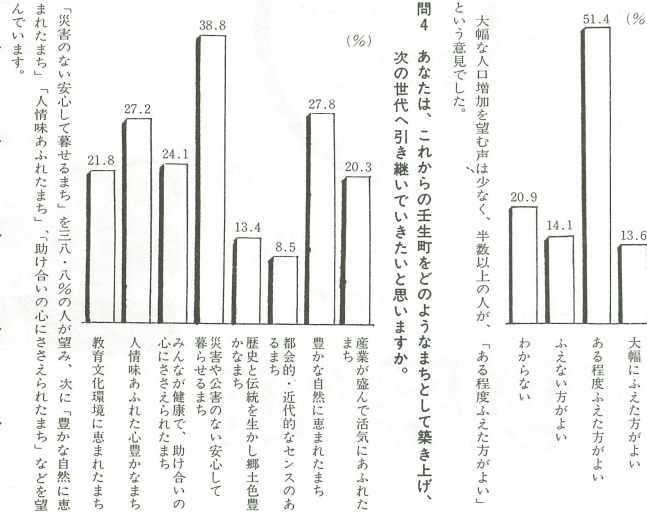
3

問1の質問を裏付けて、トップに「下水道の整備」を四一・五％の人が望んでいます。次に「生活道路の整備」「環境衛生対策」となっています。

問3 今後壬生町の人口について、あなたはどのように考えますか？



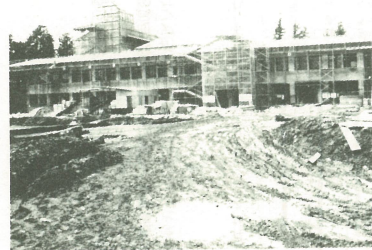
問2 あなたが、町に対して今後特に力を入れてほしい施策は何ですか？



以上のような調査結果がまとまりましたが、これらのアンケートの意見を尊重し、そのうえで「壬生町新振興計画」策定作業に取り組み、町民の皆さんが理想としている町づくりに努力してゆきたいと考えています。

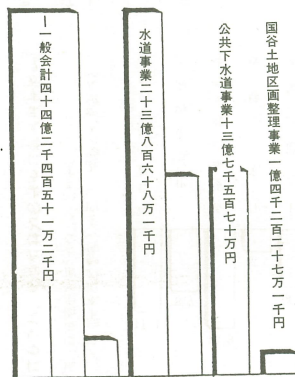
最後に、この調査にご協力いただきました自治会長さんをはじめ町民のみなさんにお礼を申し上げます。

壬生町民意章 1. 心のふれあいを大切にし教養と文化の高い町をつくります

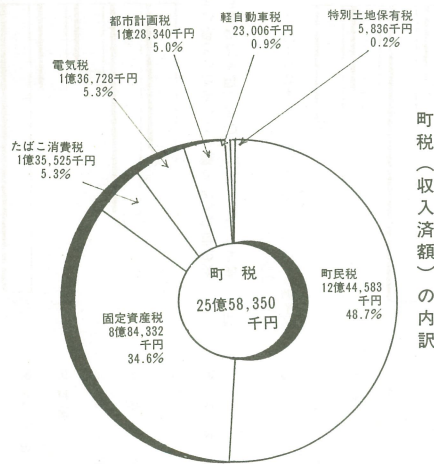


建設中の仮称総合会館（中央公民館）

町債現在高



町の台所は



町税（収入済額）の内訳

町民1人当り負担額

町民税	33,670円
固定資産税	23,924円
たばこ消費税	3,666円
電気税	3,698円
都市計画税	3,472円
その他	780円

一世帯当り負担額

町民税	119,936円
固定資産税	85,220円
たばこ消費税	13,060円
電気税	13,176円
都市計画税	12,367円
その他	2,779円

水道事業

●収益的収支

予算額は、三億八千八百九十九万三千円で、収入済額四億一千六百五十一万四千円、支出済額三億八千四百一十四万四千円となっています。

●資本的収支

収入の予算額は、一千三百八十八万五千円で、収入済額一千三百八十八万五千円、支出済額七千三百七十九万九千円となっています。収入済額が、支出済額に不足する額六千三百四十一万四千円は、当年度及び、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

奨学資金

予算額は、百六十九万九千九百五十五万四千円で、収入済額一億四千七百七十七万八千円、支出済額一億七千七百七十四万三千円となっています。

国谷土地地区画整理事業

予算額は、一億七千七百九十九万五千円で、収入済額一億四千七百七十七万八千円、支出済額一億七千七百七十四万三千円となっています。

壬生町民憲章 1. きまわりを守り互いに信じあう明るい町をつくります

このように

財政状況の公表 昭和59年度

下半期……昭和60年3月31日現在

歳入

目	予算額	収入済額	予算額に対する収入率
町税	2,581,735	2,558,350	99.1%
地方譲与税	94,000	96,175	102.3%
娯楽施設利用税交付金	42,000	40,310	96.0%
自動車取得税交付金	77,200	90,905	117.8%
地方交付税	1,115,000	1,147,819	102.9%
交通安全対策特別交付金	5,000	6,119	122.4%
分担金及び負担金	61,492	60,740	98.8%
使用料及び手数料	48,172	54,448	113.0%
国庫支出金	426,373	390,296	91.5%
県支出金	174,323	161,087	92.4%
財産収入	66,033	41,663	63.1%
寄附金	12,501	32,500	260.0%
繰入金	444,566	322,687	72.6%
繰越金	371,304	371,305	100.0%
諸収入	173,554	191,383	110.3%
町債	805,100	102,500	12.7%
歳入合計	6,498,353	5,668,287	87.2%

一般会計

目	予算額	支出済額	執行率
議会費	118,059	115,635	97.9%
総務費	1,238,592	539,243	43.5%
民生費	395,191	375,547	95.0%
衛生費	333,665	286,024	85.7%
労働費	17,771	16,045	90.3%
農林水産業費	270,098	227,017	84.0%
商工費	127,283	117,190	92.1%
土木費	874,307	532,995	61.0%
消防費	228,096	222,368	97.5%
教育費	2,460,293	1,582,669	64.3%
災害復旧費	2,503	580	23.2%
公債費	414,656	337,267	81.3%
諸支出金	3	0	0%
予備費	17,836	0	0%
歳出合計	6,498,353	4,352,580	67.0%

町民の皆さんに、町の財政がどのように運営され、どのような状況にあるかを知っていただくため、町では「財政状況の公表に関する条例」に基づき、年（回）五月、十月に公表しています。今回の公表は、昭和五十九年度予算のついで三月までの下半期の状況です。

特別会計

国民健康保険
予算額は、十三億七千二百六十二万四千円で、収入済額十一億七千八百八十二万七千円、支出済額十一億三千三百三十一万六千円となっています。

一般会計

昭和五十九年度の一般会計当初予算は、五十七億五千七百九十九万四千円で、七回の補正予算を組み、当初予算に比べて、十二・九%増の六十四億九千八百三十九万四千円となっています。

老人保健事業

予算額は、八億七千四百七十九万九千円で、収入済額七億八千二百六十七万七千円、支出済額七億四千七百二十九万九千円となっています。

公共下水道事業

予算額は、五億四千八百一十一万三千円で、収入済額三億二千八百三十万六千円、支出済額四億四千七百六十七万七千円となり、収入済額が支出済額に不足する額一億一千九百三十六万六千円は、一般会計から運用しました。

壬生町民憲章 1. 思いやりに満ちた心であたためたい社会をつくります

水口町（滋賀）と 姉妹都市提携へ

水口町と滋賀県水口町 姉妹都市提携へ

水口町と滋賀県水口町（一町）が、特産カンパネウのとりもつ縁で二年前から進めていた姉妹都市の話がまとまり、去る四月十五日、水口町の県水口文化芸術会館大ホールで姉妹都市締結宣言式が行われました。

宣言式は、水口町の合併三十周年記念式典と合せ行われ、両



姉妹都市宣言式（水口町文化芸術会館）

町の町長はじめ三役、教育長、町議会代表者らが出席して行われました。正式調印となる「姉妹都市提携要約書」は、十一月三日に大分県大分市、水口町長ら同町の関係者を招いて、町村合併三十周年記念式典の中で挙行されることになっています。

両町の姉妹都市提携は、五十八年三月に水口町の町史編さん室の編さん委員が、史料求めて水口町を訪れたのが発端。両町は、歴史的に因縁が深く、江戸時代中期の正徳二年（一七一二年）に、水口城主島居忠英と壬生城主加藤嘉矩が入り替わりの形で国替えになった。壬生の新城主島居忠英は、水口特産のカンパネウの種を取り寄せて栽培を広め、これが壬生町の特産カンパネウになった始まりと伝えられ、現在では逆に壬生町が全国の主産地となっています。そんなことから両町の間で話しがトントン拍子に進み、楡井章三・壬生町長と大分県水口町町長が、互いに親善訪問して

が、話しが具体化しました。

両町では、今年秋ごろには、小、中学生のスポーツ交歓行事を企画するなど、緊密化に向ってもスタートします。

水口町は忍び知れる滋賀県甲賀郡の中心の町。東海道五十三次の五十番の宿駅でもあり、七千二百十世帯、人口二万八千四百三十九人。現在、工業開発の一大拠点として水口工業団地の造成をはじめ、スポーツの森建設など住みよい豊かな文化都市、産業都市、観光都市の建設をめざし努力がつけられています。

火災に万全の備え

町ポンプ操法大会



競技に取り組む消防団員

町消防団（委員長 岡田長）のポンプ操法大会は、四月二十七

日町総合運動場で開かれ、ポンプ自動車部の部で、第三分団第五分団第五部が優勝しました。大会は、住民の生命・財産を守るため、日頃の訓練の成果を競い合うと、技術の向上を図ることを目的に行われたものです。

競技は、ポンプ自動車の部が七チーム（チーム五名）、小型ポンプの部が八チーム（チーム四名）の十五チームが参加して、操作・放水・取柄・点検

新御成橋 完成



完成した御成橋

県道壬生・小山線の黒川に架かる御成橋がこのほど完成しました。新御成橋は長さ百二十一メートル、両向き二・五メートルずつの歩道を備えた幅二五メートルのアーチ型をしたコンクリート橋です。旧橋は古風の増水で橋脚が洗われるなど朽化が激しく、架け替えが急がれていました。美しい快速道路の完成で通行量の多い幹線道路を通るドライブと歩行者の安全性がグンと向上しました。

・規律等について審査を受け全員が緊張した中で、雨の中真剣に競技をしていました。大会の結果は、次のとおりです。

○ポンプ自動車の部
優勝 第三分団第五部（国谷地区）
準優勝 第三分団第一部（南大飼地区）
三位 第二分団第一部（上福地区）
○小型ポンプの部
優勝 第二分団第五部（下福地区）
準優勝 第三分団第三部（中泉）
三位 第二分団第二部（七ツ石）

町史研究

あ れ こ れ

— 22 —

壬生氏五代 の廟所 (2)

前号に続き、常楽寺内壬生氏の墓にもう少し留ってみたい。四基の墓石中、中央の笠付型墓碑が、壬生氏五代目義雄その娘伊勢龜の墓である事を述べたが、何故普通一般の如く夫婦でなく、父娘の戒名が並べられているのか疑問が残る所でありあとで義雄の後室（未亡人）に

関連して再考してみたい。さてその左側に初代祖業、さらさらの左に二代目祖業、そして反対側右端が三代目祖業の墓であり四代目祖業の墓がないのは、鹿沼市下沢光寺（現宝光寺）にある為との佳話の話であるといずれも五基塔で、中央義雄の墓にくらべて小さく、戒名俗名没年等の刻文はない。

広報みぶ

※下野壬生氏略系

①筑後守祖業 ②筑後守御重 ③下総守御房
④下総守御雄 ⑤上総介義雄 伊勢龜
座神院日勝 鶴子 菅川忠昭
徳寺直樹 菅川忠昭

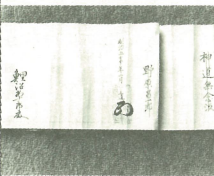
（「下野壬生氏の発給文書」杉山博著「駒沢史学第31号」特に祖業の関東下向説は伝承の域を出ないが、下野壬生氏減亡後わずか二十数年後の元和三年（一六一七）年には、明らかに京都壬生官務家と義雄の後室との交流があった事を示す史料等、宮内庁書院部蔵、京都大学古書室蔵）も発見されており、今後、壬生町史の発刊が大きい期待される所である。

町史編さん だより

45

剣の道 神道無念 流と壬生 (4)

野原正一郎（昌一郎 楠正道）は、文政十一年（一八二八）野原正助の嗣子として、壬生高野に生れ、後に壬生藩校学習館において文武両道を学び、青年期には江戸に上り、神道無念流の道場九段下の、練兵館（道場主・斎藤九郎）に学び、その技芸の力量の為、免許皆伝



神道無念流目録



小田垣英一郎氏

行政相談員 小田垣氏再任

総務庁長官が四月一日付で小田垣英一郎氏（上表町）が、

導者として塾頭職を勤めた。その後、二十九年（一八八六）壬生藩において御師範役を申し付けられ、同藩の青年剣士育成に勤め明治維新を迎える。明治二年（一八六九）壬生藩の軍監を申し付けられ、藩主の忠告を押し上京（京都）、藩

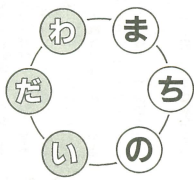
行政相談委員として再び委嘱されました。行政相談員は、住民の皆様から広く行政に対する不平、不満などの苦情や意見・要望などを聞き、苦情の解決を図るとともに、それらの意見をも行政運営の改善を図ることに仕事としています。行政相談員は、役場で定期的に相談を受けるほか、常時自宅でも応じます。お気軽に申し込んでください。

政奉還をなした。同三年鹿沼置藩により無役となるが、のち同五年（一八七二）壬生県十五等役人として出陣した。以上、野原正一郎に係る経歴の概略を述べたわけであるが、もっぱら野原正一郎が剣によって明治初期の動亂の時期であった。これらを物語る史料が多数現存している。

その一つとして、幕末の慶応三年（一八六七）に、門弟二百四十一名の姓名を連ねた奉納額が、現在の栃木市、大平山神社に献納されている。奉納と右左・横書、神道無念流・野原正一郎、楠正道・門人という書出して、一門一流の姓名が書込まれているのがみえる。

壬生町民憲章 1. 働くことによるこびをもち豊かな生活をさずきます

壬生町民憲章 1. 自然と歴史を大切に、よりよい環境をつくります



町民のひろば

「町民のひろば」はみんなで作るページです。まちのわだはいは、身近なコースやできごとを、「職場の若者」を紹介される方は、男女は問いませんが独身の方を、「私の家族」は小学生男女の万の、わたしの自慢料理」は主婦の方こそ一報ください。

手に汗握る熱戦

第一回壬生町バスケットボール大会

第一回主催（体協後援）バスケットボール大会が、四月二十一日、二十八日の二日間町民体育館で開かれ男子が壬生クラブチーム、女子が独協チームが優勝しました。大会には、男子七チーム、女子三チームが参加し行われました。試合は手に汗握る熱戦が展開され、女子決



白熱する女子の試合

太公望の

夢膨らむ

稚アユ二百kg放流
下都賀漁業協同組合壬生支部では四月二十四日、黒川に稚アユを放流しました。
この日は午前十時から、同漁協管内の藤井橋下をはじめ、三ヶ所に県産の七グラム、七センチ前後の若アユ二百kgを放流した流れの中に、放たれた若アユたちは勢いよく姿を消してい



藤井橋下でのアユの放流

清掃に汗を流す

並木用水組合

国道三五号線沿いの稲葉から壬生方面へ流れる並木用水が近年、通行人や車から捨てられるあき缶、ビニール袋、流れて来るゴミ、土砂が溜ってしまっている。そこで四月二十九日、



並木用水組合の皆さん

短歌

壬生町文化協会文芸部選
小平さよ子
路の崖口に含めばほろろ苦し故郷の彼岸を語りあふ夜
秋山 セン
ボタンかけに手間どるさまを見過せし梅をころに友を暮る
鈴木佳世子
瀬の青堤のみどり際立たせ千鳥ヶ淵に桜咲き満つ
諸岡 婦美
みちのきは千恵子の郷ぞ安達太郎の麗に宿り吾に君なし
俳句
佐藤 淑子
盛装や改造成りしレストラン
鈴木 愛子
山彦のこたえ返してや山笑ふ
宇井 秋打
トンネルが列車吐き出し山笑ふ
糸川 とめ
古難やむかし思ふが昔かしげ



私の家族

ぼくの

お父さん

壬生北小学校六年

広沢 貴典



「ただいま。毎日夜おそく父の声が聞こえます。ぼくは、そんな父にとても感謝しています。父は、信用金庫の支店長という重要な仕事をしているので



貴典君のお父さん幸雄さん

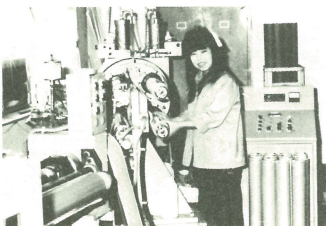
いつも帰りがおそいのだと思います。それに、夜おそく帰って来ても、本を読んだり勉強をしたりしているの、休むひまがあるのかなと思います。また、父は習字が上手なので、ぼくたちの書きそめて夏休みみの作品などは、父におかわって書きます。ときときしかられて

ぼくは、そんな父が大好きです。これから父をみならつてたくさん勉強をして、父のような人になりたいと思います。

職場のわかも

戸崎 広子 さん 24

ユニ工業 株



ユニ水仙・推選

当社は、三菱鉛筆(株)の子会社として発足し、セロハンテープ等、各種粘着テープを製造しています。彼女の職場での仕事はスライサー係、毎日毎日、直屬上司の厳しいノルマにめげず、あの早春を彩る水仙の花の様な笑顔で、健気にがんばっています。

ヤル気まんまん、花より団子ス波特より優しい彼女、さらにお金も暇も欲しいと、現代っ子らしい欲張りさを見せる反面優しい顔に、彼女の素適な一面を垣間見ることが出来ます。

紹介者 製造課 石川 薫 郎

わたしの自慢料理

なすのチーズはさみ揚げ

若 草 宇賀神 二三子



【材 料】4人分
なす4ヶ・チーズ8切・ハム薄切4枚・卵(とき卵用)1ヶ・小麦粉適量・パン粉適量・揚げ油
【作り方】
①なすはヘタを取り縦半分に切り、さらに横からヘタのところまで包丁を入れておく。
②包丁で切れめを入れたところにハムとチーズ1切を重ねてはさむ。
③とき卵に小麦粉・水を入れ衣を作る。(天ぷらの衣より少しかためにする)
④②を衣、パン粉の順につけ油で揚げる。
お子様のおやつや晩酌のおつまみなどにも最適ですのでは非作ってみてください。
【このコーナーへ、どなたでも参加できますのでご一報ください。】



アフリカ救援活動に 県知事より感謝状



感謝状を手にする松本会長と町長

日本赤十字社のアフリカ救援募金を寄託した当町が、四月二十三日、県庁大会議室にて県知事より感謝状を贈られました。当町においてこの救援募金活動は、自治会連合会（松本万里会長）が各自治会員に募金を呼びかけ、集まった約八十五万円が町に寄せられ、これを町が救援金として寄託したものです。今回感謝状が贈られた団体は、当町他三十二団体八市町村で、

県全体で集まった募金は、二六四万円にも及びました。

児童手当のしくみ

▼児童手当を受けられる人
日本国内に住所を有する人がつぎの要件にあてはまっているときに支給されます。

①十八歳未満の児童を三人以上養育していて、そのうちの一人以上が義務教育終了前の児童・中学校を卒業するまでの児童）であること

②その人の前年の所得が、一定

の額（例えば扶養親族等四人の場合、五十八年の所得二百四十五万八千円）に満たないこと

▼特別給付
昭和五十七年六月から②の所得要件にあてはまらないため児童手当を受けられない被用者（厚生年金に加入している人など）または公務員については、その人の前年の所得が一定の額（例えば扶養親族等四人の場合、五十八年の所得三百八十九万円）に満たないときは、特別給付が支給されます。

善意銀行

○金一〇、六四七円
トミー労働組合栃木支部様
○金五、〇三二円
衆川とめ様
○金一四、七三九円
独協医大付属看護専門学校
ボランティアクラブ三年生一同様
○金八、三二六円
月かけ幼稚園卒園児父兄一同様
○金二、〇〇〇円
匿名

四月の町内価格調査結果

品名	単位・品質	最低値～最高値	平均	前月平均
小麦粉	1等粉 1kg	165～220	196	198
豚肉	もも肉 100g	108～180	160	162
サラダ油	ビシン入 1,650g	500～748	629	668
砂糖	上白糖 1kg	208～270	241	239
しょう油	濃口ボリ入 1ℓ	231～450	293	245
塩さけ	100g	100～280	180	162
さばカン	水煮2号 220g	95～140	114	122
インスタントコーヒ	150g	868～1,020	952	952
キャベツ	1kg	50～380	201	102
玉ネギ	1kg	100～298	167	192
卵	10個入 M	159～200	189	190
ちり紙	1,200枚	198～258	232	239
ティッシュペーパー	400枚	110～150	136	165
洗濯無	2.65kg	850～910	888	882
台所用洗剤	380ml	138～288	169	159
ラップ	30cm×20m	130～250	174	167
アルミホイル	25cm×8m	99～145	123	126
灯油	18ℓ	1,350～1,530	1,431	1,427
プロパン	5m ³	2,650～2,960	2,852	2,772
ガソリン	レギュラー 1ℓ	135～145	143	145
軽油	1ℓ	95～110	104	106

▼児童手当の額は、十八歳未満の児童のうち、出生順に三人目以降である義務教育終了前の児童一人につき月額五千円です。ただし、町民税の所得割の額がない受給者には、月額七千円が支給されます。

なお、特例給付の額は、児童手当と同じです。

▼認定請求の手続き
受給資格が生じたときの手続きは、役場民生課、住民課および各支所が窓口となっていますので、いずれかの窓口で認定請求をしてください。

なお、この手当は資格があっても認定請求しないと支給されませんので注意してください。

六月の納税	町民税	一期分
まちのうごき 5月1日現在 総人口 37,060人 (+96) 男 18,384人 (+9) 女 18,676人 (+87) 世帯数 10,487世帯 (+110) ()内は前月比		